

情報教育学研究会 (IEC)

第 19 回情報教育フォーラム (兼 : 第 246 回研究会)

— 概要 —

(開催日)

2010 年 12 月 25 日 (土)、26 日 (日)

※ 参加受付 : ~2010 年 12 月 10 日 (金)

(会場)

京都情報大学院大学 京都駅前サテライト

<http://www.kcg.edu/>

(テーマ)

新技術最先端で変わる教育界の今後

(開催趣旨)

フォーラムは、日頃の私たちの情報教育の研究成果や主張を発表する場となっております。また、教育実践に重点をおきながら、その時代の動向を見据えたトレンドな話題の提供をもとに、参加者と開催者がひとつの場を共有する中で、ディスカッションを重視し、内容を深めることを特徴としています。

第 19 回フォーラムは「新技術最先端で変わる教育界の今後」をテーマとしました。「情報教育」をキーワードとして、小学校・中学校・高校・大学・企業などに所属する会員が集まる本研究会では、現在の「情報教育」を推進していくうえで、昨今のめまぐるしく変化する情報環境が、どのように関与してくるかは極めて重要なテーマとなります。この学びの機会を多くの教育関係者と共有したいと思います。

(参加費など)

未定

(主催・共催・後援)

主催 : 情報教育学研究会 (IEC)

共催・後援 : 未定

— 詳細 (2010.10.10 現在) —

2010年12月25日(土)

12:30-13:00	受付
13:00-17:00	会議① ※ 講演
> 13:00-13:10	開催の挨拶、講演者紹介
> 13:10-14:30	講演①:「電子書籍と電子教科書」 e-コミュニケーション・コンソーシアム, オーム社 森 正樹 氏 (講演概要) 1世紀の「多様化とグローバル化」という課題に直面し、その健全な進展のためには、遠隔会議、教育、出版などの場面での先端情報通信技術 (ICT) を活用したコミュニケーションがますます重要になってきます。そこで e-Learning, 遠隔講義, 電子教科書などの基礎になる電子書籍の今後について講演いたします。
> 14:30-14:50	休憩
> 14:50-16:10	講演②:「学校全面クラウド化の衝撃 ～(従来システム). vs. (クラウドシステム)～ どちらの勝ちか? 6カ月稼働後の「通信簿」で比較する」 静岡大学 井上 春樹 教授 (講演概要) 情報投資の費用対効果を高めるため、ソフトウェアや情報機器の利用によるクラウド環境への転換が話題となっています。クラウドコンピューティングを利用する長所と短所について理解を共有し、学校運営として持続可能な情報環境が維持できるような実践を報告して広く議論したいと思います。
> 16:10-16:30	休憩
> 16:30-17:00	講演③:「電子書籍とeラーニング/学校クラウド化とネットワークマルチバーシティ」 京都情報大学院大学 植田 浩司 准教授、江見 圭司 准教授
> 17:00-17:10	初日締めの挨拶
18:00-20:00	懇親会 ※ 詳細未定

2010年12月26日(日)

9:00-12:00	会議② ※ IEC 研究グループ発表
> 9:00-11:50	詳細未定
> 11:50-12:00	締めの挨拶